



公益社団法人 日本武術太極拳連盟

JAPAN WUSHU TAIJIQUAN FEDERATION

〒132-0025 東京都江戸川区松江1-9-15
TEL 03-6231-4911 FAX 03-6231-4955
1-9-15, Matsue, Edogawa-ku, Tokyo JAPAN
<https://www.jwtf.or.jp/> E-mail: jwtf@jwtf.or.jp

総発第4088号

2024年1月19日

都道府県連盟代表 各位
審判委員会 各位

公益社団法人日本武術太極拳連盟
審判委員会委員長 及川 佳織

2024年度以降全国大会のルール運用と解釈について

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

2023年に各種国際大会が再開され、新ルールの具体的な運用や適用例、解釈の変更などがいくつか明らかになりました。これらについて審判委員会で事例を検討し、日本国内の事情を踏まえた上で、2019年ルールおよび2005年ルールとその補助ルールに関する運用と解釈等について以下にまとめました。

これらは2024年以降、全国競技大会であるJOCジュニアオリンピックカップ、全日本選手権、国スポに適用しますが、都道府県やブロックの予選、各種地方大会での適用は必須ではありません。大会の規模、参加選手や審判団の状況を考慮して、大会主催者や審判団などで協議の上、適用する内容を取捨、決定してかまいません。ただし、それによって代表選考において偏りが生じないこと、代表選手が全国大会で不利を被らないことなどについては、十分ご配慮ください。また、ねりんピックは旧ルールです。今回の文書の対象ではありません。

この通知に関連して、先日、第32回JOCジュニアオリンピックカップの要綱と合わせて「2019年版武術套路競技規則」の2023年11月版、SAGA国スポの実施要項と合わせて「武術太極拳新国際ルール補助ルール(2024)」をお送りしました。また、「JOCジュニアオリンピックカップ競技種目動作名称表」の誤植を修正しましたのでお送りします。合わせてご確認ください。

お手数をおかけしますが、コーチ・選手・審判に周知していただきたく、大会担当者や審判委員会担当者など関係する各所へご共有ください。

ご多忙の折と存じますが、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

敬具

記

全日本・国スポに関して

*太極拳・太極剣規定種目の収脚での足着地についての解釈

国際大会の規定套路の演技では、収脚での足着地はごく稀であるが、着地した際にも減点はしていない。これは、選手のレベルから考えて、着地してもそれは演技のリズムを作るためのものであり、バ

ランスミスとは関係ないと判断しているからである。足着地がバランスを崩したためだと審判が判断した場合は、A組コード71での減点となる。

それに対し、日本国内で収脚での足着地が問題になるのは、それが多くはバランスミスをしない、ぐらつかないようにリスクを回避するためのものだとみなされるからである。根底にはランスミスとの関係があり、リスクを冒して足を着かない場合と足を着いてリスクを回避する場合との差をつけることに妥当性があると言える。

これまでは以上のような指摘はあったが、実際にはバランスを崩していないのにA組コード71で減点することが適切なのかが問題だった。国際大会での状況を踏まえた上で再検討し、テキストで足を着いてよいとされていないところで、バランスを崩していないにもかかわらず足を着いた場合は、リスク回避の習慣的なミスと判断し、減点とする。

減点するにあたってはコードが一致しなければならないが、当面、A組コード70のうち、「足の移動」を拡大適用して使用することとした。今後国際大会で新たな解釈や運用がなされた場合は、それに基づいて変更する可能性があることを付け加える。

*32式剣・42式剣について

(1) 収脚での足着地については上記を運用するが、42式太極剣「11 转身下刺」での足着地は明白なリスク回避とみなすことができ、テキストにも「足を着かない」と特に明記されているため、回転の途中で足を着いた場合はランスミスの有無にかかわらずA組コード71での減点とする。

(2) 42式剣「40 摆腿架剑」にはA組コード25を適用する。この動作は剣を持っているために足の甲をたたかないだけで、振り回す要求は同じである。

(3) 32式剣「3 仆歩横扫」動作名称は仆歩であるが、動作の詳細説明は「半仆歩」と書かれているため、A組コード53の減点は適用しない。

(4) 全日本の32式剣・42式剣の時間規定は「2分以上4分以内」である。ホイッスルは2分。JOCジュニアでは国際ジュニア大会の規定に合わせ、「3分以上5分以内」としているが、全日本では時間規定を変更する根拠となる事例がないため、従来どおりとする。

*ペア競技について

(1) 2023年10月10日付 総発第4006号にあるように、補助ルール(2023)において、ペア総合太極拳で採用するルールに間違いがあった。正しくは以下の通り。

団体競技部門：以下の1種目のA組審判は「2005年国際武術套路競技規則」14、16ページを適用

ペア総合太極拳(自選)	3分以上4分以内	1組演技
-------------	----------	------

つまり、上記文書で伝えたように、国スポの24式ペア、全日本の総合ペアは団体競技(集団)のA組コードではなく、個人競技のA組コードを使用する。

(2) ペア競技では推手・対練などの組み手の演技を含んではならないとされているが、意図せず手などがぶつかってしまった場合は「73 器械が床に触れる、体に当たる」を援用して適用する。拳術では、器械でなくとも、意図せず手が床に触れたが附加とみなすほど重心がかかっていない場合などに73を適用しており(この解釈は、先日送付した2019年ルール2023年11月版にも反映済み)、ペアで互

いにぶつかった場合にも 73 を適用することに合理性があると考え。また、ペア競技では互いの距離をどうコントロールするかも技術の1つであり、ぶつかった場合はミスと判断する。

* 自選動作の編成について

全日本 ペア総合太極拳/国スポ ペア 24 式太極拳、総合太極拳 (自選)

動作の選択や編成の際に、「動作の改変」と見なされる可能性のある変更を加えないよう、十分注意のこと。いくつか例を挙げる。

- ・ 24 式太極拳 拦雀尾の最後の按で、次の動作への方向転換に便利のため、弓歩が完成しないうちに跟歩をした場合、総合太極拳の按または孫式の動作であると判断される
- ・ 総合太極拳で掩手肱捶、马步靠、野马分鬃の前（両手で円を描いて下に押さえる動作）以外で発勁した場合、陳式の動作であると判断される
- ・ 動作のつなぎで震脚をした場合、陳式の動作であると判断される

全日本 太極剣・刀

太極剣で、32 式剣・42 式剣を主にして一部のみ変更を加えて「自選」とすることは認めない。自選太極剣を主とし、その中に 32 式剣・42 式剣の動作を取り入れることはかまわないが、どちらが主であるかが明確であるような套路編成にすること。

JOC ジュニアオリンピック 2019 年ルールに関して

* 2019 年版ルールには、B 組審判が使用する演技レベルの等級・配点の表がないが、2005 年版ルール（青本）と同じである。第三套路で C 組審判を配置する場合には青本 17 ページを、それ以外の場合は 25 ページを使用されたい。

* 動作名称表で「〇〇平衡」とあるものについて、該当する動作のコードと持久性平衡を適用する。

第三套路長拳「39 扣腿双摆掌」や第一套路長拳「43 扣腿冲拳」などは A 組コード 14 を適用しない。第一套路剣術「4 盘腿平衡截剑」は A 組コード 14 を適用し、持久性平衡として時間をカウントする。

* 2019 年版ルールでは規定の動作の回数（舞花など）の回数は減点対象に含まれていないが、ルール原本の間違いである可能性があることがわかった。これまで通り、繰り返し動作の回数が規定通りでない場合は 1 回多い・少ないにつき 0.1 点の減点とする。

* 第三套路太極拳「26 后插腿低势平衡」・太極剣「25 后插腿低势平衡」・太極扇の「26 后插腿低势平衡 开扇」は、いずれも腕を左右に開くこと。手を合わせたままで動作を完成した場合、「動作の改変」とみなされる可能性がある。

* 規定套路の動作について、映像と教科書で違いがあることがあり、また映像も教習用ビデオ以外では

違いがあることがある。以下に特に注意してほしい動作を挙げた。

【第一套路 長拳】

- ・第一段—「11 上歩拍脚」…映像では、右足→左足 2 歩踏み出しているが、左足 1 歩が正しい。

【第一套路 劍術】

- ・第一段—「7 行歩帶劍」～「9 扣歩点劍」…映像では、左歌歩から左足を 1 歩目として踏み出し、8 歩目（右足）で「上歩撩劍」+3 歩目（左足）で「扣歩点劍」←合計 11 歩となっているが、正しくは、左足 1 歩目として、7 歩目（左足）で「上歩撩劍」+2 歩目（左足）で「扣歩点劍」←合計 9 歩。
- ・第二段—「28 转身云劍」～「29 仆歩穿劍」…映像では、「转身云劍」で并歩となった後、右で退歩（1 歩）して刺劍→左へもう 1 歩退歩した後仆歩になっているが、左退歩 1 歩で仆歩に入るのが正しい。
- ・第三段—「39 退歩腕花」…映像では、左足退歩から右・左足と 3 歩目で右插歩となっているが、歩数が少ない。正しくは、右足退歩から左・右・左足と退歩し 4 歩目で右插歩になるのが正しい。

【第一套路 刀術】

- ・第四段—「52 转身纏头刀」～「53 仆歩下截刀」…映像では、「右弓歩点刀」から右足を左側へ 1 歩出しながらかんして左へ扎刀→「右仆歩下截刀」となっているが、正しくは、「右弓歩点刀」のあと左側へ右足、左足と 2 歩踏み出しながらかん纏头刀を 2 回行い、続いて左足、右足と右側に 2 歩踏み出しながらかん右に扫刀→「右仆歩下截刀」になる。
- ・第四段—「54 旋转缠脖刀」…映像では、左足を右足後ろに 1 歩挿し込んで、左足を軸に転身しているが、正しくは、右足を左膝裏に寄せながらかん左足軸に転身し、「缠脖刀」を行う。

【第一套路 槍術】

- ・第二段—「25 插歩拦拿扎槍」～「27 弓歩拦拿扎槍」…映像の全套路部分では回数は 3 回で正しいが、組合せ部分では 27「弓歩拦拿扎槍」の回数が 1 回多く、4 回となっている。
- ・第三段—「31 左右舞花槍」～「32 舞花过背槍」…正しくは 3 回舞花した後に「背槍」となるが、映像では全套路部分・組合せ部分ともに 1～2 回多い。
- ・第四段—「42 转身拦拿扎槍」～「43 弓歩拦拿扎槍」…正しくは、拦拿扎は 2 回。映像は全套路部分・組合せ部分とも 1 回多く、3 回行っている

【第一套路 棍術】

- ・第二段—「21 原地舞花」…正しくは、4 回舞花した後に転身し击歩へとつなげるが、映像は全套路部分・組合せ部分とも 1 回多い。
- ・第二段—「25 转身扫棍」…映像では 1 回転身しているが、正しくは転身せず、そのまま抡棍し、左推掌する。
- ・第三段—「33 弓歩扫棍」…映像では、右足退歩から 4 歩目（左足）で転身しているが、正しくは右足退歩から 2 歩目（左足）で転身する。
- ・第四段—「47 转身云棍」～「48 弓歩推掌」…映像では、左足を 1 歩下げたあと再び前に踏み出し、そのまま左足を軸に転身しながら云棍、同時に右足を後ろへ着地し「左弓歩右推掌」となっているが、正しくは、「左虚歩背棍」のあと左足を 1 歩下げ、そのまま左足を軸に転身しながら云棍し、右足後ろへ着地し左弓歩に、同時に棍から右手を離し「左弓歩右推掌」となる。

【第一套路 南拳】

- ・第一段—「5 左弓歩冲拳」で発声しているが、正しくは「4 左弓歩冲拳」で発声する。
- ・第二段—「43 拖歩抛撞拳」～「44 马歩撑掌」…映像では、右足1歩目から左足→右足の3歩目で「马歩」となっているが、正しくは右足1歩を踏み出して「抛撞拳」し、続いてその右足を左足に引き戻し、再度1歩踏み出して「撑掌」になる。
- ・第四段—「57 拖歩抛撞拳」～「58 拖歩冲拳」…映像では、右足1歩目から走り抜けるように左足→右足3歩目で「冲拳」し、続けて左足→右足→左足を後ろへ挿し込んで「右插歩鞭拳」となっているが、正しくは、右足1歩踏み出しながら「抛撞拳」、続いて再度その右足1歩同じように踏み出して（左足は拖歩）「冲拳」し、さらにその右足を軸に左足後ろに挿し込み「右插歩」となり「鞭拳」する。

【第一套路 南刀】

- ・第二段—「31 跳转身马歩砍刀」…映像では発声がないが、発声する。

【第三套路 南刀】

- ・第二段—「24 跳转身骑龙歩砍刀」…映像では発声がないが、発声する。

送付書類

- ・JOC ジュニアオリンピックカップ競技種目動作名称表（2024年1月版）（冊子1部、コピー用1部）

以下は、すでにお送りしているものですが、コピーを1部同封させていただきます。

- ・2019年版 武術套路競技規則（JOC ジュニアオリンピックカップ武術太極拳競技規則）2023年11月版（1部）
- ・「武術太極拳 新国際ルール補助ルール（2024）」（1部）

以上